

住民認知度100%の「地域包括支援センター」を目指して

菊陽町地域包括支援センター 保健師 平井 亜佑美

「あの時、勇気を出して電話して良かった。今思うと、もっと早くに相談すれば良かった。」

地域包括支援センターには、毎日様々な相談が入ります。例えば、介護保険や物忘れ、免許返納後の外出に関する事、金銭管理や家族介護の相談等です。

生活上の困りごとがある場合、家族や地域住民等を通して、地域包括支援センターにつながる事例が大半ですが、一部には、どこに相談したら良いのかわからず、また相談先が分かっているにもかかわらず相談に行くことができず、長い期間我慢し、介護状態となってから電話相談が入ることがあります。上述の言葉は介護状態となった家族から言われた言葉で、このような言葉を聞くことは決して稀ではありません。



皆さんはお住まいの地域の地域包括支援センターをご存知ですか？

地域包括支援センターは主に 65 歳以上の高齢者の総合相談窓口で、菊池圏域には、菊池市、合志市、大津町、菊陽町の役所(役場)内にあります。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、その他専門知識を持った職員が、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるようその人の生活環境に応じた支援を行っています。

十分な相談体制を有する地域包括支援センターですが、残念ながら本町での認知度は低いのが実状です。「もっと早くに相談すれば良かった。」との言葉を聞く度に、周知不足を感じざるを得ません。

「ちょっと教えて、これどこに相談すれば良いの？」

地域包括支援センターがもっと身近な存在となり、このようなちょっとした電話での問い合わせが増えること～地域包括支援センターの住民認知度100%～を目指して、菊陽町では現在、周知活動に力を入れています。

最後に、お困りごとがあれば、お住まいの地域包括支援センターへいつでもお電話ください。皆さま方からのお電話をお待ちしております。

菊陽町地域包括支援センター(☎096-232-2366)



次は泗水中央薬局 薬剤師 塚本先生にリレーします。